



「おいでまい」通信 令和8年第3号

令和8年9月24日 香川県農業革新支援センター

適期収穫と乾燥・調製作業のポイント

- 収穫前の早期落水を避け、黄変粳率を確認して適期に収穫しましょう！
- 収穫後は速やかに乾燥作業に移り、適切な調製を行いましょう！

【水管理：収穫直前の落水】

落水時期が早いと、未熟粒の発生を助長し、粒張りを悪化させることから、早期落水は避けましょう。

落水は、収穫の7日前頃を目安に、ほ場の水を抜き、コンバイン作業等に支障のない程度まで、田面を乾かしましょう。

なお、天候やほ場によって水を落とし始める時期は変わります。

【適期収穫】

早刈りすると「青米」や「未熟粒」が増え、刈り遅れると「茶米」や「胴割れ米」が発生するなど、外観品質が劣り、食味も低下します。

下表の収穫適期予想(目安)を参考にし、現場のほ場のもみの熟れ具合を確認し、黄変粳率85～90%で収穫してください。

なお、黄変粳率による収穫適期の判定法は、2ページをご覧ください。

【収穫適期予想(目安)アメダスデータより試算】

出穂期	収 穫 適 期 (適期幅)		
	海岸部 (多度津アメダス)	平野部 (高松アメダス)	内陸部 (滝宮アメダス)
8月25日	10月2日 (9月30日～10月5日)	10月2日 (9月29日～10月4日)	10月5日 (10月2日～10月7日)
8月29日	10月8日 (6～10日)	10月8日 (5～10日)	10月11日 (8～14日)
8月31日	10月11日 (9～14日)	10月11日 (8～13日)	10月14日 (12～17日)
9月 2日	10月14日 (12～17日)	10月14日 (11～17日)	10月18日 (15～21日)

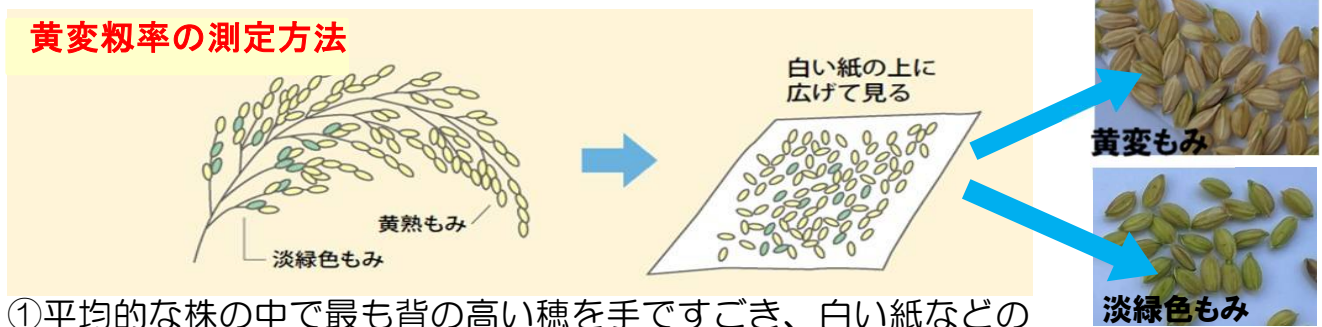
注1) 収穫適期は出穂後の積算気温により計算し、日平均気温の積算温度が1,000℃に達した日とし収穫適期幅は950～1,050℃としています。

2) 気温データは、海岸部は多度津、平野部は高松、内陸部は滝宮アメダスデータを用い、**9月24日以降**は平年値を用いています。

『黄変籾率による収穫適期の判定方法』

【ほ場での黄変籾率の確認】

黄変籾率の測定方法



- ① 平均的な株の中で最も背の高い穂を手ですごき、白い紙などの上に広げる。
- ② 「黄変もみ」と「淡緑色もみ」を数える。中身が無いもみは数えない。
- ③ 全もみ数に占める黄変もみ数の割合により、刈取り適期を判定する
$$\text{黄変もみ数} \div (\text{黄変もみ数} + \text{淡緑色もみ数}) \times 100 = \text{黄変もみ率}(\%)$$

【黄変籾率による収穫適期の把握】

- ・上記の測定方法にしたがって算出した黄変籾率を下表にあてはめて収穫適期を判断してください。下表は収穫を始めたら良い日です。
- ・今後の気象予報により、平年より1℃以上の高温が続くと予想される場合は高温年の欄、平年より1℃以上の低温が続くと予想される場合は低温年の欄を適用してください。

【収穫適期(黄変籾率が85%以上)になるまでの日数の目安】

調査時の黄変籾率	高温年	通常年	低温年
76%	5日	6日	9日
78%	4日	5日	7日
80%	3日	4日	5日
82%	2日	2日	3日

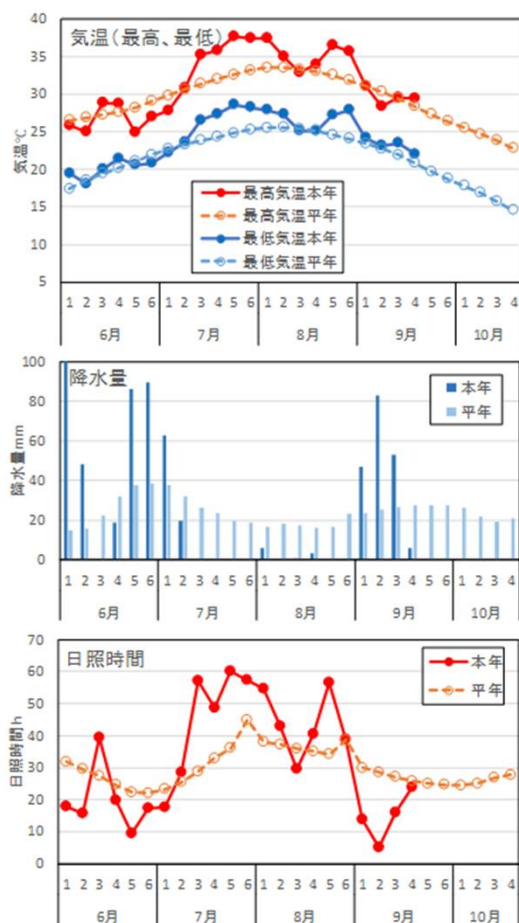
注) 気温の予想は、気象庁による週間天気予報を参考にしてください。

【乾燥・調製】

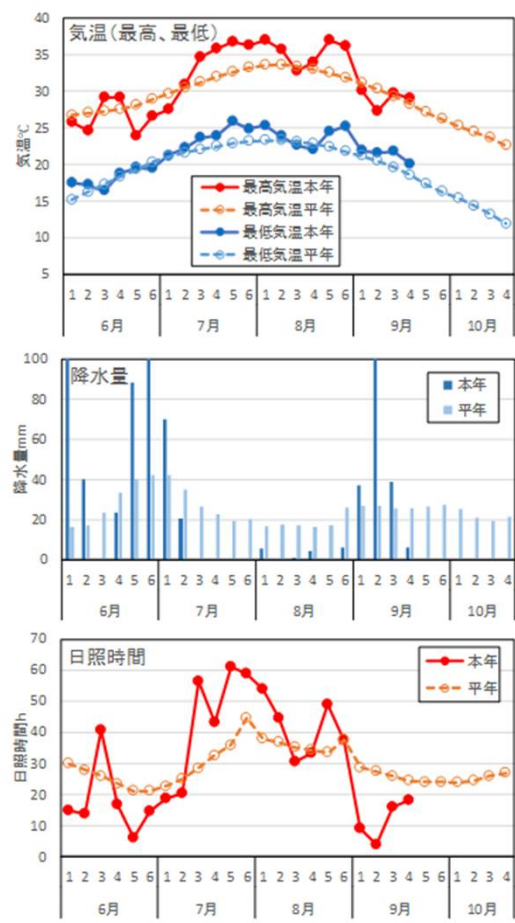
収穫後は、速やかに乾燥作業に移ります。高温や急激な乾燥は避け、仕上り水分14.5～15.0%とします。

乾燥後は、肌ずれや籾が残らないよう籾すりを行い、1.85mm以上の篩目で屑米を抜き、良質米に仕上げましょう。

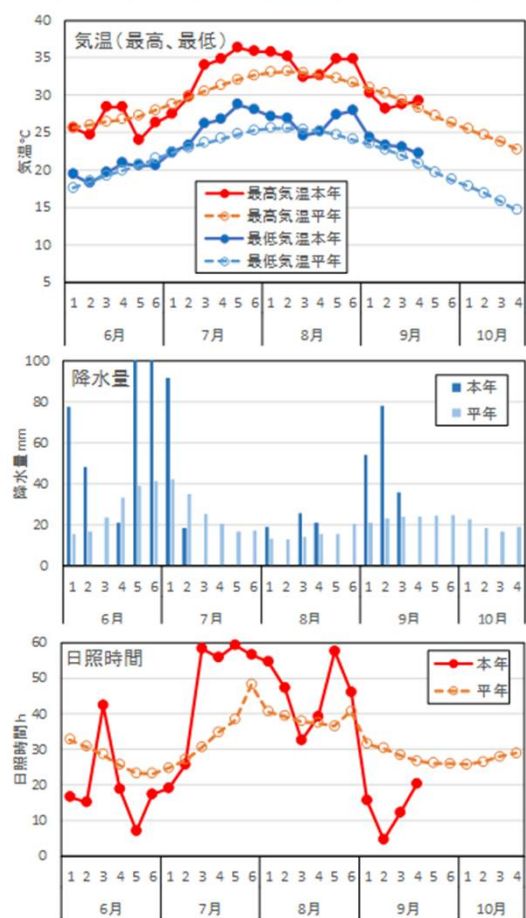
【お問合せ先】	香川県 農業経営課 農業革新支援センター	TEL 087(814)7319
	香川県 農業生産流通課 農産グループ	TEL 087(832)3418
	香川県 東讃農業改良普及センター	TEL 0879(42)0190
	香川県 小豆農業改良普及センター	TEL 0879(75)0145
	香川県 中讃農業改良普及センター	TEL 0877(62)1022
	香川県 西讃農業改良普及センター	TEL 0875(62)3075



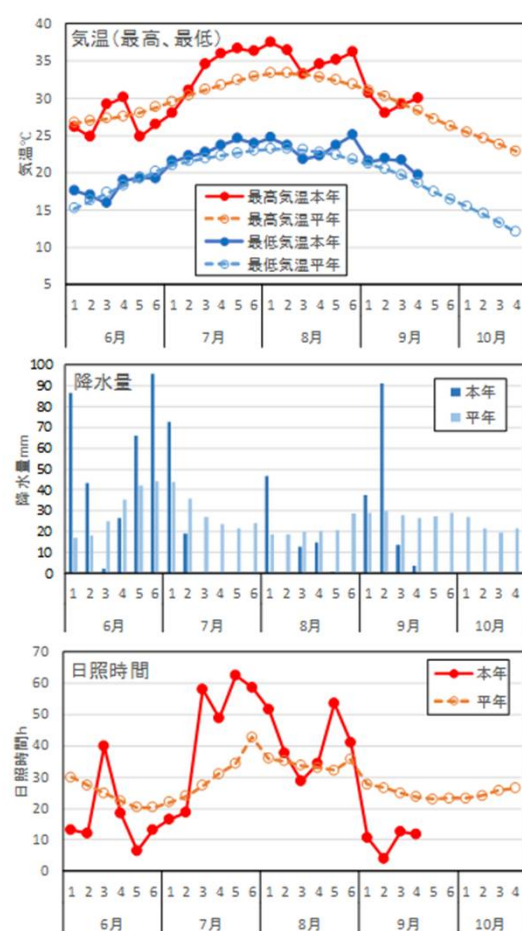
令和8年度 半旬別気象(高松アメダスデータ)



令和8年度 半旬別気象(滝宮アメダスデータ)



令和8年度 半旬別気象(多度津アメダスデータ)



令和8年度 半旬別気象(財田アメダスデータ)